

# 平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 リアル・リンク京都

## 1. 事業の成果

「リアル・リンク」は真に喜びに溢れた繋がりを生み出す地域貢献型の非営利法人で、『環境・福祉・教育・政経の相乗』を合言葉に、地域社会・利用者・役職員の好循環を生み出すために活動し今年度で発足 24 年となった。

収益事業の中核をなす介護福祉部門は開設 5 年目に入り事業規模は順調に拡大し、年度末には新しい施設「柏野の郷」を計画通りに開設することができた。ただ介護福祉業界は著しい人手不足の状況であり、職員を確保するための経費増加や職員の不足による利用者数の減少を余儀なくされ、そこに新施設の開業や設備の更新に伴う費用負担も加わり短期的には厳しい業績結果となった。

次年度は新施設の本格稼働や設備更新された貸館利用の増加により業績の改善を見込み、全職員に対する労務環境の更なる改善を図り、引き続き定着率やスキルの向上を目指す。

非収益事業においては例年通りの活動であったが、次年度は発足 25 年という節目の年を迎えるにあたり初心に立ち返って記念事業や新たな継続事業も展開していきたい。

以下に各事業からの詳細報告を記載する。

### ■収益事業部門

#### 1. ケアプランセンター紫光（居宅介護支援事業）

今年度も昨年度に引き続き事業規模の拡大を図り職員の増員を行なったが、疾病による職員の離職などにより結果的には元の鞆に収まる形となった。しかし、新しく入った職員への研修や OJT を通じた育成の充実により職員全体のスキルアップを図ることができ、次年度へつなげる基盤を整えることができた。

次年度は、更なる地域密着を図るために地域ケア会議への参加や地域他事業所との合同研修会を実施する。

#### 2. ヘルパーステーション紫陽（訪問介護事業）

今年度は複数職員を介護福祉士の資格取得のために支援し目的を果たすことができた。それにより業務レベルが上がり営業活動も活発にでき地域事業所との信頼関係を増すことができた。しかし、職員の増員ができず実績を伸ばすには至らなかった。

次年度は引き続き職員の増員を図るとともに、IT 活用による業務の省力化や情報の共有化を進めて特定事業所加算の取得を目指す。

#### 3. 紫明会館デイサービス（通所介護事業）

今年度は新しい施設の開設に伴ってベテラン職員が異動の対象となり、また、利用者の募集をするも政策の影響や利用者のニーズの変化からか短時間利用の希望が多く、結果的には延べ利用者数を減らすことになり、収益も減少した。

しかし、従来より力を入れてきたイベント・レクリエーションも評価されてきており、活発なデイサービスとして地域に認知されるようになってきた。加えて一人一人の思いやニーズに合わせて個別の対応を引き続き行い、利用者やご家族からきめ細やかなサービスであるにご満足をいただけた。

次年度は生活相談員をはじめとする職員の増員を視野に入れながら、職員同士による情報共有やスキルアップに力を入れ、また利用者のニーズに柔軟に対応していき、引き続き利用者やご家族の期待に添いたい。

#### 4. 走和の郷（グループホーム・小規模多機能型施設）

3年目に入りグループホームについては今年度もほぼ満床で推移し順調であったが、小規模多機能型の利用者数は職員の不足などにより伸ばすことができなかった。そのような中ではあったが、地域とのつながりを深めるために地域包括ケアセンターや介護予防推進ケアセンターなどと連携した企画を実施できたことは良かった。

次年度は自費サービスの提供や地域の職場も含めた企画を展開するためにも、更なる職員の確保や処遇改善、スキルアップにも注力する。

#### 5. 柏野の郷（グループホーム・小規模多機能型施設）

今年度末に北区紫野地区の住宅密集地に開業した新しい施設で建設当初より地域との交流があり、施設に対する要望や入居の希望なども多く寄せられ期待の高さを感じてきた。

次年度からが本格的な稼働となり、地域からの期待に沿うべく施設内の地域交流スペースの住民への解放や地域行事への参加などを通して相互理解を深められるようにし、早期の利用推進や地域に根差した運営を図りたい。

#### 6. 紫明会館（貸館サービス）

今年度は施設の更なる利用向上を目指して耐震補強工事及び空調・照明設備大規模改修工事を実施した。その工事のために利用日数を制限しなければならなかったが、改修工事後の稼働率や賃料のアップにより収入を増やすことができた。また、当初からの目的である地域貢献と文化財保護の両立という道筋もようやく見えてきた。

次年度は本年度の施策による効果を確認し、今後の課題を洗い出す。

### ■ 非収益事業部門

#### 1. ふエコ（子育て支援・環境教育事業）

本年度も幼児・児童とその保護者および関係者を対象に、京都府下一円およびその近隣地域の保育所、幼稚園、子育てサークル、地域のサークルなどにスタッフが訪問して活動を行った。遊びをとおしての環境教育の導入は、地球環境保全への関心の喚起と普及に貢献するものと考ええる。また、子どもへの啓発活動は、家庭や地域への波及効果も大きく、子どものみならず、大人への啓発にもつながると考える。子どもがもっと自然を好きになるために本事業は子どもの心を育てることに貢献したと考える。

### 2. 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
各種企業、団体、個人に対する啓発活動を通し、環境保全を推進する事業	・環境教育・子育て支援事業「ふエコ」 活動内容は別紙のとおり	29/4/1 ～ 30/3/31	京都府下一円及びその近隣地域	5名	330名	251
介護保険法に基づく居宅介護支援事業、介護予防支援事業、訪問介護事業、介護予防訪問介護	①居宅介護支援事業 介護予防支援事業	29/4/1 ～ 30/3/31	北区 上京区 中京区 左京区	6名	1,500名	219,736
	②訪問介護事業 介護予防訪問介護事業	29/4/1 ～	北区 上京区	10名	420名	

事業、通所介護事業、介護予防通所介護事業、認知症対応型共同生活介護事業、小規模多機能型居宅介護事業 障害者自立支援法に基づく居宅介護事業、重度訪問介護事業、移動支援事業、行動援護事業、同行援護事業、特定相談支援事業及び一般相談支援事業、障害児相談支援事業	障害者自立支援事業 移動支援事業	30/3/31	中京区 左京区			
	③通所介護事業 介護予防通所介護事業	29/4/1 ～ 30/3/31	北区 上京区 中京区 左京区	15名	4,871名	
	④認知症対応型共同生活介護事業 介護予防認知症対応型生活介護事業	29/4/1 ～ 30/3/31	右京区	32名	300名	
	⑤小規模多機能型居宅介護事業 介護予防小規模多機能型居宅介護事業	29/4/1 ～ 30/3/31	右京区	6名	86名	
	施設内部研修					
	1 回想法	29/4/12	紫明会館	5名	職員全体	
	2 感染症	29/5/24	紫明会館	5名	職員全体	
	3 介護ロボットの現状	29/6/16	紫明会館	5名	職員全体	
	4 危険予知トレーニング	29/9/19	紫明会館	7名	職員全体	
	5 介護記録の書き方	29/10/18	紫明会館	8名	職員全体	
6 接遇マナー	29/11/8	紫明会館	6名	職員全体		
7 介護技術	30/1/23	紫明会館	7名	職員全体		

## (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
その他の事業に係る貸館事業	講演会・イベント等の貸し出し	29/4/1 ～ 30/3/31	紫明会館	1名	178名	23,543

## 子育て支援・環境教育事業「ふエコ」

## 29年度 活動報告

年月日	対象	場所	参加者数	内容
29/06/01	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児・保護者	野外活動 (摂津峡 ウォーキングコース)	45名	ウォーキング
29/08/05	親子ふれあい体験事業 幼児・小学生 親子	向日市民 体育館	35名	牛乳パックが大変身
29/08/19	地藏盆 幼児・小学生 親子	町内会	10名	牛乳パックが大変身
29/09/21	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児・保護者	野外活動 (太閤道ウォーキングコース)	45名	ウォーキング
29/11/28	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児・保護者	野外活動 (摂津峡 ウォーキングコース)	50名	ウォーキング
30/02/04	みつばち菜の花保育園 「クラス交流会」 2歳児・保護者	保育園内	30名	お話し
30/02/27	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児・保護者	野外活動 (太閤道 ウォーキングコース)	45名	ウォーキング
30/03/08	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 4・5歳児	野外活動 (摂津峡 ウォーキングコース)	70名	ウォーキング